

堀川・ふれあい広場の水質調査

八熊環境調べ隊

1 はじめに

堀川は、私たちの学校の隣を流れている身近な川です。毎日何気なく眺めてはいますが、堀川についてしっかり考えたことのある子どもはとても少ないのが現状です。

そこで、堀川に対してのイメージを子どもたちと話し合ったら、次のような意見が出ました。

- ・ 見た目は汚い感じがする。
- ・ 汚いから、飲むことはできない。
- ・ よく見るとたくさんの魚が泳いでいるから、あまり汚くないかもしれない。
- ・ 生息している魚の種類も気になる。

そこで、実際の堀川の様子や川の水のきれいさなどを調べてみることにしました。また、堀川と比較できるように、校内にあるビオトープにも目を向け、比較してみることにしました。

2 名札を作ろう！

4年生の総合的な学習の時間で、調査を開始するにあたって、子どもたちから、「環境調べ隊になるときは、目立つ名札を付けたいな。」という意見を聞き、学年で調査をする際に身に付ける名札を作成しました。名札を付けることによって、意欲が高まり、より環境について考える視点をもてるように進めていきたいと感じました。



【子どもたちが作った名札】

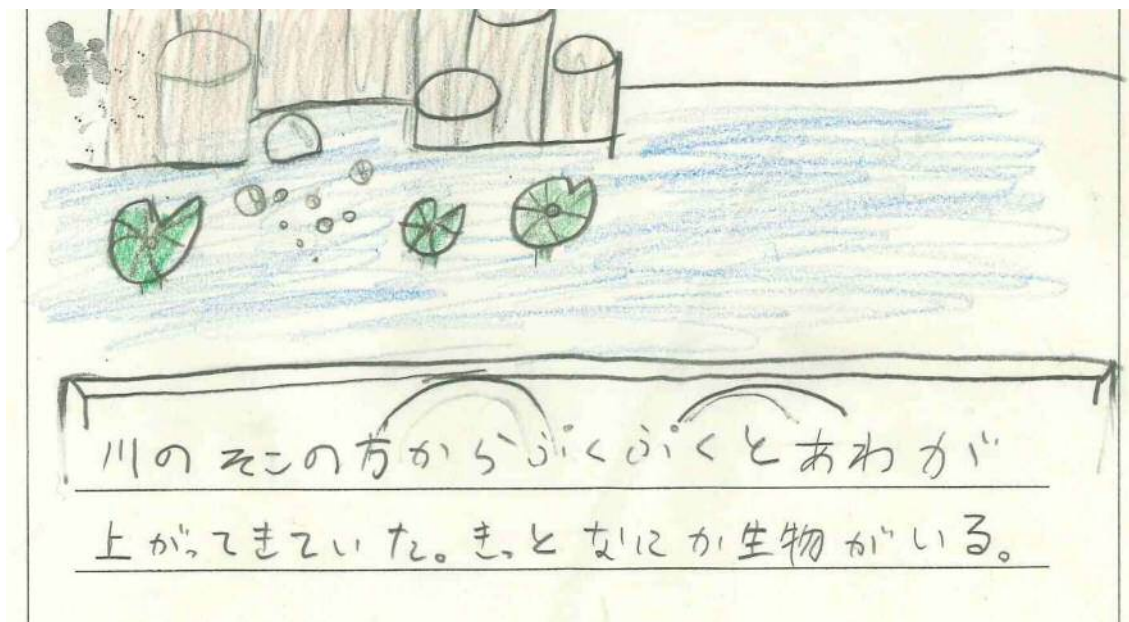
3 「なかよし広場」のビオトープを調べよう

(1) 「なかよし広場」のまわりの様子を調べよう

学校の運動場の隣にある「なかよし広場」には、学区にちなんだ「尾頭橋」という小さな橋が架けられ、その下を川のように水が流れていて、子どもたちはビオトープとして身近に感じています。どの学年でも、教科の学習に使ったり、休み時間に水の中の様子を見たりして生活している子どもたちですが、水のきれいさなどに目を向けたことはあまりなく、興味をもって調べることができました。



【ビオトープの中を観察している様子】



川のそこの方からじくじくとあわが
上がってきた。まとなにか生物がいる。

【観察した後の感想】



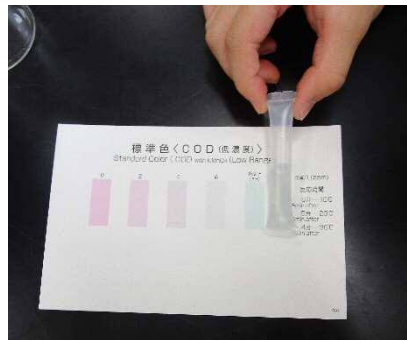
【観察した後の感想】

(2) 「なかよし広場」の調査結果

学級を6つの班に分けて、それぞれがなかよし広場のビオトープの調査を行いました。

日時：10月11日金曜日
 天気：くもり
 場所：なかよし広場

透視度：15cm
 COD：10
 水の色：とうめい
 水におい：しない



【ビオトープの水を調べている様子】

(3) 結果から分かったこと

校内のビオトープは、水が循環していて、見た目も透明度が高く、きれいなのではないか、という意見が多かったが、実際に水を汲み上げてCODの検査をしてみると、そんなにきれいではないことが分かりました。子どもたちからは、「前は魚が泳いでいた時もあったけれど、注意深く観察してみたら、水草が多く、生き物もほとんど見られなかった。見る時期や季節によっても違うかもしれないから、これからまた観察を続けたい」という声が多く聞かれました。

今回の調査結果からは、水の透視度は高く、においもほとんどなかったけれど、きれいではないことが分かりました。

4 堀川を調べよう

(1) 堀川のまわりの様子を調べよう

学校のすぐ隣には、「堀川」という川が流れており、子どもたちは普段から川を身近に感じています。遠足や校外学習に出掛ける際は、川の横を歩いて移動することが多く、川の様子が話題に上がったり、生き物を見つけては歓声が上がったりしています。

そんな堀川ですが、見た目は色が汚く、とてもきれいとは思えない感じがします。

そこで、子どもたちの堀川のイメージが、実際はどうなのかを調べることにしました。

(2) 堀川の調査結果

日時：10月29日 火曜日

天気：晴れ

場所：堀川

透視度：15cm

COD：6

水の色：とうめい

水におい：少し変なおい

(3) 結果から分かったこと

堀川は、川全体の見た目が緑色で、とても汚れているように見えていましたが、実際に数値化してみると、校内のビオトープよりもCODの値は低く、想像していたよりも汚れていないことが分かりました。また、透視度もよく、濁っている様子はありませんでした。川全体を遠くから見ると、汚れているように見えますが、今回の実験結果から、見た目よりも汚れていないことが分かりました。

5 おわりに

川は私たちの生活になくてはならないものです。川が健康で私たちも気持ちよく生活できるように気を付けることが大切です。汚い川であっても、そこに生き物は生息して、私たちに訴えかけていることも多いと思います。今回の調査をしたことによって、水の使い方に気を付けながらこれからの生活に生かしていきたいと思いました。